



CSV Report 2022

2022年7月

株式会社セゾン情報システムズ

CSV Report 2022 について

- CSV《Creating Shared Value/共有価値創造》とは、企業の経済利益活動と社会的価値創出(=社会課題の解決)を両立させることが重要であるという考え方であり、それを経営戦略に落とし込むためのフレームワークのことです。
- 私たちセゾン情報システムズは、時代に最適なITサービスの提供を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、社会の課題を解決し、近未来社会の創造に貢献していきます。
- このレポートは、この私たちの活動の全体像を、CSVのフレームを借りて、ステークホルダーの皆様と共有していくため2019年から作成をはじめました。私たちが何を目指し、何に取り組んでいるのか、理解していただくための一助となればと思います。
- 作成にあたっては、様々な分野で個別に進んでいることを、一つの大きなストーリーに位置付けること、それによって、それぞれの活動の目的をより明確に、ご理解いただくことを目指しています。
- さらにご理解いただきますために、「2022年3月期ビジネスレポート」もご一読いただきますようお願いいたします。

2022年7月
セゾン情報システムズ

私たちは、事業活動(Product & Service)を通じて、お客様企業の事業価値創造に貢献すると同時に、地域や社会の課題を解決する価値を創造し(Shared Value)、近未来の社会価値の実現(Mission)と、自分たちの企業価値の向上(Vision)を目指していきます。
その取り組みの根底にあるのは、私たちの行動規範SISCO* WAYです。「お客様と“伴”に・・・」を原点に、お客様の立場、お客様の目線の先にある生活者や社会、未来のお客様の立場で考え、行動します。

*SISCO : Saison Information Systems Co., Ltd.

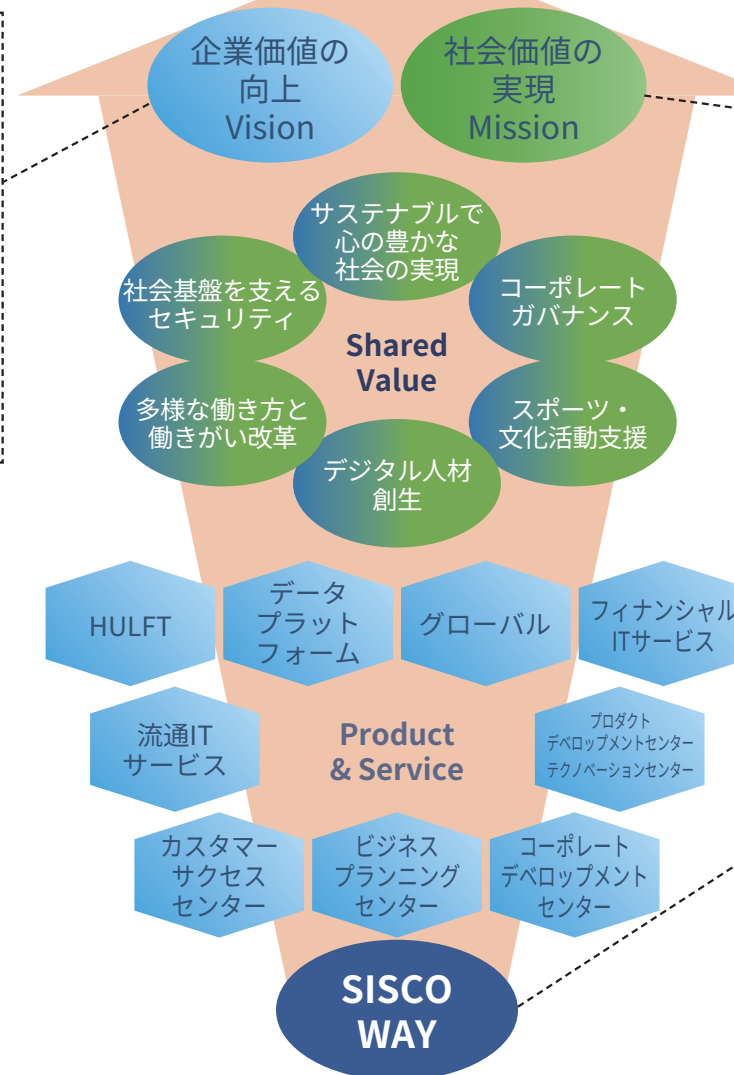
セゾン情報システムズの価値創造ストーリー

目指すべき企業像

- 特定分野において時代の最先端を行き、お客様のビジネス成長・発展に貢献するIT企業
- 独創的かつ高品質な当社製品サービスを送り出すマーケットリーダー
- グローバルで存在感ある稀有な国産ベンダー
- 創造性豊かで、意欲が高く、実行力がある変革リーダーや真の自律人材が溢れ集まる会社

中期ビジョン

カテゴリートップの具現！
～特定分野において、ダントツの存在感を発揮します～



ミッション

当社グループは、生活者向けに利便性、快適性、及び心の豊かさを提供する企業に対し、事業維持・成長・拡大に必要不可欠かつ時代環境に適応したITサービスの提供を通じて、イノベーションを加速させ、近未来社会に貢献します。

行動規範 SISCO WAY ～お客様と“伴”に・・・～

- Customer First
お客様、お客様のお客様の立場で考え、行動する
- Keep Your Words
あらゆる関係における信頼とひとり一人の責任
- Timely Communication
ステークホルダーとのタイムリーな情報シェア
- Good Manner (Professional Behavior)
人としての真摯な立ち振る舞い、日々人間力を磨く
- Challenge & Speed
俊敏な自発的、自発的行動による自己革新

Product & Service

各事業部門は、DevOps統括、ビジネスプランニングセンター及びSPPC(Service Product & Planning Committee)の支援を受け、独立事業として、また連携してより統合的なソリューションを提供して、お客様のイノベーションに貢献します。

HULFT(ハルフト)

社会・企業の変化、技術の進化とともに生まれるデータ連携ニーズに対応し、様々なシステムをつなぎ、お客様のIT環境に最適なデータ連携を実現するソフトウェア製品、サービスを提供します。

グローバル

北米、中国、ASEANに拠点を置き、当社HULFT製品群を活用したデータ連携サービスをグローバルのお客様に提供します。

データプラットフォーム

当社の強みである「つなぐ」技術を中核に、業務・基幹システムやSaaS等の外部サービスをつなぐことで業務プロセスの変革と見える化を実現し、お客様のDXと経営刷新に貢献します。

流通ITサービス

百貨店・GMS・航空業で蓄積されたノウハウを生かし、流通・サービス業におけるお客様ビジネスの課題を特定し、解決するための最適なソリューションを先端技術を駆使して提供します。

フィナンシャルITサービス

クレジットカード会社のシステム開発から運用までを担ってきた実績と先端技術を駆使し、お客様のイノベーションを加速させ、金融業界のDXをリードします。

プロダクトデベロップメントセンター テクノベーションセンター

当社戦略に即した製品・サービスの開発及びIT技術を全社に普及・浸透させるべく先端テクノロジーの調査研究、Service Design、UI/UX、モダンインフラの浸透、技術者教育の実施、各事業部門への技術支援を行います。

カスタマーサクセスセンター

ITが経営の基盤として重要度を増すなか、私たちは、お客様の大切なシステム運用及び当社が提供する製品サービスサポートを24時間365日、安心・安全に提供します。

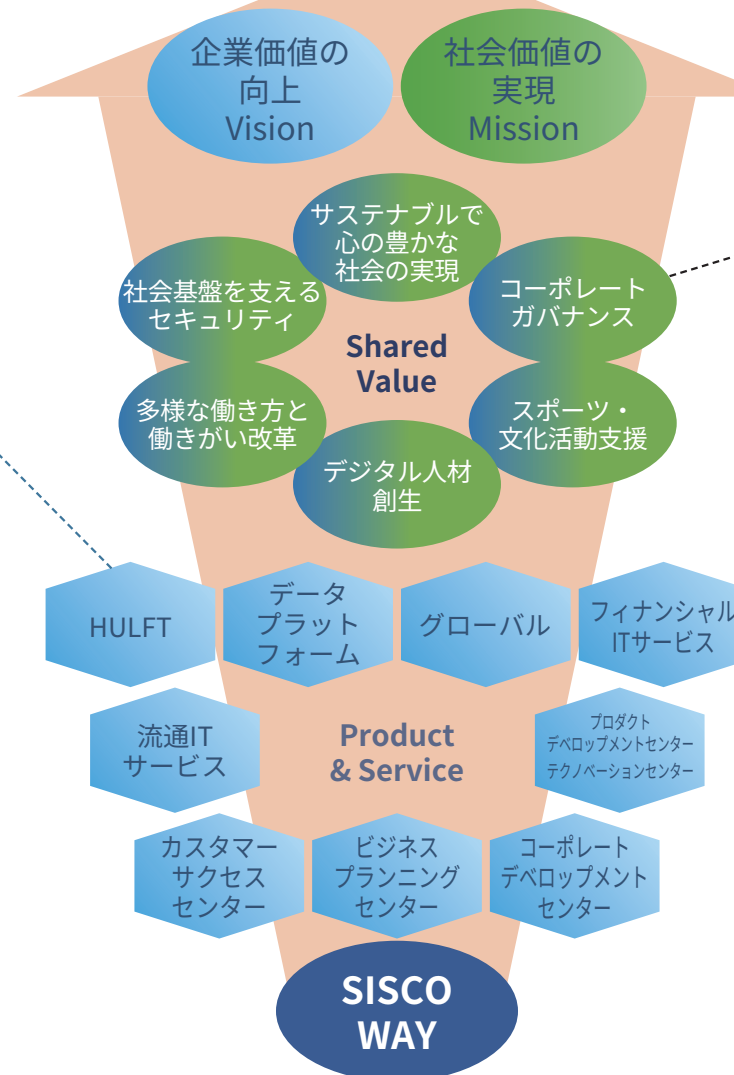
ビジネスプランニングセンター

DIビジネスとコアビジネスのシナジーの発揮を目的に、全社横断的に事業企画及びマーケティング活動を担います。

コーポレートデベロップメントセンター

事業の維持・成長に必要な不可欠かつ時代環境に適応したコーポレートサービスの提供を行います。

セゾン情報システムズの価値創造ストーリー



Shared Value(私たちが創造・共有する価値)

全ての人や企業が、自由自在に安全にデータを活用して新しい価値を創造すること、それによって、すべての人が快適さと心の豊かさを手にできる社会が生まれること、私たちはそれをリードし、サポートしていきます。

- 私たちは、これまで培った安全なデータ連携・システム構築運用スキルと、多様なデータやソフトウェアを活用して価値を生む最新テクノロジーで、すべての人や企業が、自在に安全にデータを活用し価値を創造するためのITサービスを提供します。
- そして、デジタル時代に、すべての人が心の豊かさを手に入れることのできる社会の実現を目指します。

そのため、以下の6領域での価値の創造・向上・共有をテーマとして活動を進めます。

1. サステナブルで心の豊かな社会の実現
2. 社会基盤を支えるセキュリティ
3. 多様な働き方と働きがい改革
4. デジタル人材創生
5. 世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援
6. コーポレートガバナンス

次ページ以降この具体的活動をご紹介します。

サステナブルで心の豊かな社会の実現

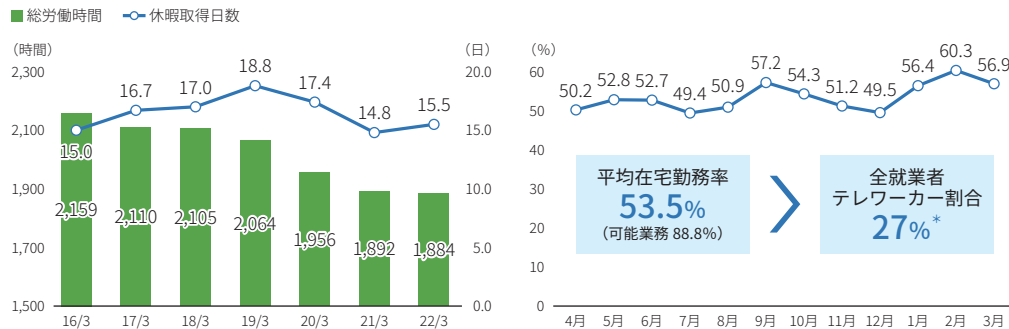
私たちが推進するDXによって、そして地球や地域社会との共生を目指す活動によって、利便性が高く・快適であり、かつ心の豊かさを得ることのできる社会づくりに貢献します。

時間、場所、人に依存しない働き方へ

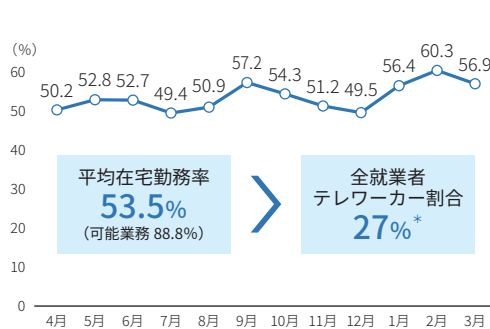
当社は、組織風土改革の一環として「自律自走を推進する人事プログラム」と「時間や場所に縛られない多様で柔軟な働き方」への刷新を図ってきました。

社員は職種や業務に応じて、在宅勤務と出社を組み合わせた勤務やフレックスタイムの活用など、柔軟に働き方を選択することができます。さらに、こうした新しい働き方を支える取り組みとしてDXを活用し、積極的な生産性の向上に努めています。具体的には、在宅決算や電子契約の導入、さらには社員が自律的にデータの分析が行える環境に向けて、当社製品「HULFT DataCatalog」を活用し、これによりIT部門に頼らず自らデータを抽出し分析することが可能となり、迅速な意思決定の実現につながっております。

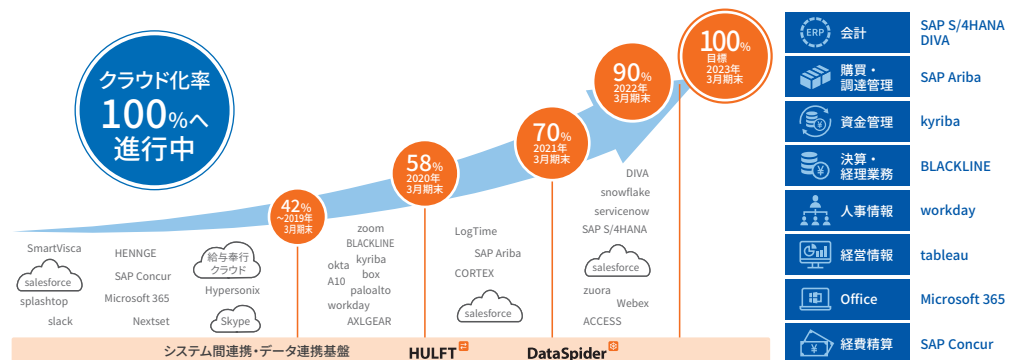
総労働時間・休暇取得日数（1人当たり）



月別在宅勤務率



*全就業者テレワーカー割合：国土交通省「令和3年度テレワーク人口実態調査」雇用型テレワーカー割合より



「第5回日経スマートワーク経営調査」で3.5星に認定

働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する日本経済新聞社の「第5回日経スマートワーク経営調査」において、当社は3.5星に認定されました。



この調査は人材活用力やイノベーション力などによって組織のパフォーマンスを最大化させる取り組みを星5段階で評価するものです。当社はこの評価を、2016年から進めてきた「時間や場所に縛られない多様で柔軟な働き方」などを目指す組織風土改革、さらには「DXを活用した業務効率化」といった取り組みの1つの成果と捉えております。

当社の項目別の評価は右記になります(※)。

総合評価	人材活用力	イノベーション力	市場開拓力
3.5星	A++	A++	A++

※総合評価：偏差値70以上 星5、65以上70未満 星4.5、60以上65未満 星4、55以上60未満 星3.5、50以上55未満 星3
※各項目別評価：偏差値70以上S++、以下5刻みでS+、S、A++、A+、A、B++、B+、B、C

社会貢献活動基本方針

営業利益1%の社会貢献(2022年3月期は29.1百万円)

2020年4月から、社会貢献活動基本方針を定め、「前事業年度営業利益の1%」を、世界の生活者の生命、健康、飢餓、貧困からの救済活動を行っている団体へ、毎年寄付することとしました。上記活動を持続的に支援することは、当社事業ミッションを遂行する上で必然と考え、今後もビジネス及び社会貢献活動を行ってまいります。

社会貢献プログラムの基本方針に基づく活動に対する継続的な支援 2022年5月の寄付実績	ウクライナ危機に対する人道支援を優先的にを行っている団体への支援 国境なき医師団、国連WFP、日本赤十字、セーブ・ザ・チルドレン、ウォーターエイドジャパン、国連UNHCR、JCMT海外医師研修事業、沖中記念成人病研究所、米国(サンマテオ、デトロイト)、シンガポール、タイ、英国
---	--

赤城自然園への協賛

赤城自然園は、都会の喧騒から一步離れた群馬県赤城山のふもとに位置し、年間8万人のお客様がご入場されています。2010年より、クレディセゾン様が「次世代を担う子ども達に豊かな自然を引き継ぐ」ため、社会貢献活動のひとつとして赤城自然園の運営をされており、当社もその活動に共感し、12年連続で協賛する形で赤城自然園の発展に携わっております。



赤城自然園

2019年秋には、認定NPO法人「フリースペースたまりば」様の子供たちを赤城自然園にお招きし、当社主催で自然を体験する催しを開催しております。

社会基盤を支えるセキュリティ

私たちは、お客様に高いレベルのセキュリティを備えたサービスを提供すると同時に、当社内においてもさらにいっそう高いレベルのセキュリティを目指します。そしてお客様が提供する社会基盤を支えるセキュリティのリーダーシップを目指します。

いかなるときもサービスを止めない事業継続体制

2011年の東日本大震災等を経て、いかなるときもサービスを止めない事業継続プログラム(BCP)の重要性が謳われてまいりました。各社、地震や火災等の災害時に業務が止まらないよう、準備が進められております。当社におきましても、データセンターを堅牢にしたり、遠隔地でバックアップがとられるようにするなどサービスが継続されるよう取り組む一方で、帰宅困難な社員が安心して就業できるよう、災害時の備蓄(右下図)などにも取り組んでおります。

このような中、2020年初頭より、新型コロナウイルスによる感染症が世界的に流行し、地震等の災害対策だけでは通用しない事態が継続しております。人の接触を避けるため、人の動きが止まり、そして物流などモノの動きも停滞するという、サプライチェーンが発達したからこそ社会が停滞するという事態を迎えております。

また、当社では、震度5強以上の地震発生時には自動的に安否確認システムが作動し、全社員とご家族の状況確認を行っております。



医療器具▶



◀水、マスク



◀保存食品

事業継続に欠かせない社員の健康維持・向上

2022年3月、当社は職域での新型コロナウイルスワクチン接種に係る政府方針を受けて、地域の負担を軽減するため、東京都港区の本社オフィスにおいて3回目の職域接種を実施いたしました。今後も当社では新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、引き続き感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、事業継続に不可欠な社員やその家族、関係者に対する安心・安全な環境づくりに努めてまいります。

お客様のデータを安全にお預かりするデータセンター

当社では、お客様の個人情報をデータセンターにお預かりしており、常に発達するサイバー攻撃に対して、求められるセキュリティレベルをクリアする設備、体制を整備しております。

■システム開発と連携したセキュリティサービス

当社の運用の特徴は、システムを開発する部門と連携を密にした、お客様業務のあるべき姿を追求する点にあります。あるべき姿に基づく体制、プロセスを構築し、クラウド技術やネットワーク、監視システムのスペシャリスト、運用SE/オペレータが24時間365日体制で「安心、安全、安定」のシステム維持、運用サービスを支えております。

■「マルチクラウド」サービス

データの保管等において、どの会社/個人でもすぐに利用が始められるクラウドサービスが拡大する一方、汎用サービスではカバーしきれない領域も確実に存在します。当社は個別のお客様ごとに、環境構築と運用も含めて提供する従来サービスとクラウドサービスの強みを互いに生かす、「マルチクラウド」サービスの実現に取り組んでおります。

CSIRT(Computer Security Incident Response Team)活動

近年サイバー攻撃の巧妙化が進み、完全に防御することが困難となってきた状況を踏まえ、当社では2021年3月期に全社横断的に活動するCSIRTを立ち上げました。また、さらなる対応体制強化のため2021年6月には日本シーサート協議会へ加盟をいたしました。2022年3月期は、サイバーセキュリティ事例や脆弱性情報の共有、机上インシデント対応訓練などを行い、セキュリティインシデントに対しての対応力強化を行っております。

個人情報保護・情報セキュリティ管理への取り組み

当社及び当社グループは、業務上お預かりしている情報の中でも、個人情報及び特定個人情報情報は極めて重要であり、慎重に取り扱う必要があると認識しております。また、当社事業である情報サービスの提供にあたり、お客様及び当社の情報及び情報システムをより高い安全性をもって適切に保護することに努めております。プライバシーマーク(JISQ15001:2017)及び情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格の認証(ISO/IEC27001:2013)を取得し、継続的な改善を実施しております。

多様な働き方と働きがい改革

日本の社会、特に情報産業にとって、働き方と働きがいの改革は大きな社会課題です。私たちは、最新のDX技術によって生産性を向上させ、働きがいを革新し、働く人の自己実現とワーク・ライフバランスのとれた豊かな社会の実現を目指します。

業務の効率化による生産性の向上

当社は時間、場所、人に依存しない働き方ができる環境整備を推し進めてまいりました。時短勤務(育児・介護の両立)、テレワーク環境のさらなる充実に加え、フレックス勤務のコアタイムを撤廃したスーパーフレックスを導入いたしました。勤務体系、制度、風土の構築と適正な労働時間も実現に努めております。

■生産性・健康指標

※2022年3月末時点

1人当たり年間医療費
163千円
(前年比+15千円)

1人当たり月間残業時間
平均15.4H
(前年比▲0.3H)

1人当たり休暇取得日数
15.5日
(前年比+0.7日)

※7.5時間/日

※夏季休暇含む

1人当たり医療機関通院回数
5.4回
(前年比+0.4回)

健康診断要再検査率
13.4%
(前年比▲2.3P)

メンタルシック率
0.6%
(前年比+0.1P)

多様な雇用への貢献(SISCOファーム)

当社は、障がい者の雇用を支援する活動の一環として、働き方を支援する農園(SISCOファーム)を千葉県松戸市にて運営しております。同農園で収穫された野菜を子ども食堂などのNPO法人に寄付しており、地域コミュニティへ貢献しております。

2020年7月1日より、千葉県船橋市において「SISCOファーム II」を開園しております。船橋市の農園は当社にとって、2つ目となり、様々なハンディキャップを抱える方が安心・安全かつ長期的に就労できる環境の整備に努める一方で、自立した生産者として当社が進める社会貢献・CSR活動の一端を担ってもらうことを目的としております。更に2022年6月1日、当社にとって3番目の農園となる「SISCOファーム 柏」が千葉県柏市高田にオープンしました。

社員の健康促進と社会貢献を連動

テレワークなどの定着化で運動不足による社員の心身の健康への影響が懸念されるようになったことから、当社では2021年10月より歩行習慣の改善と社会貢献を連動させるプロジェクト「ドネーションウォーク」を実施しております。これは社員が歩いた歩数を重さに変換し、同じ重さの食品を支援が必要な団体へ寄附する取り組みで、2022年3月には「認定NPO法人フリースペースたまりば」が運営する「コミュニティスペースえんくる」への寄附や「認定特定非営利活動法人Doooooooo」を通じたガーナの子供達750人の1ヵ月分の給食支援を実施いたしました。本プロジェクトのほか、当社では社員の健康促進の取り組みも並行して進めており、コロナ禍でも社員の健康指数向上につながっております。



「認定NPO法人フリースペースたまりば」事務局次長と当社社員



「認定特定非営利活動法人Doooooooo」を通じて届いたガーナの子供たちからThank youメッセージ



SISCOファームとSISCOファーム IIで栽培されている野菜と収穫作業

SISCOファームの活動実績 (2021年度)

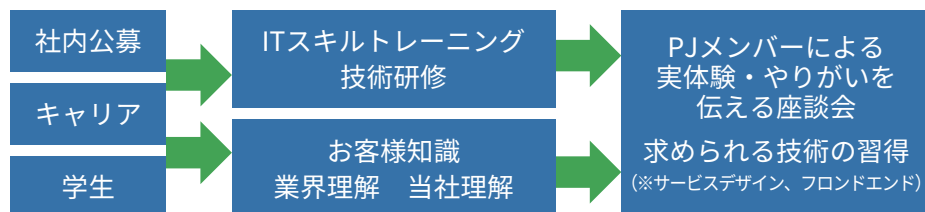
種類	収穫量(単位:g)			人数分換算(単位:人分)		
	松戸	船橋	合計	松戸	船橋	合計
根菜	600	2,120	2,720	10	35	45
葉菜	53,505	52,960	106,465	892	884	1,776
果菜	10,500	—	10,500	176	—	176
豆類	—	—	—	—	—	—
合計	64,605	55,080	119,685	1,078	919	1,997

デジタル人材創生

社内の若手人材に限らず、これからのデジタルテクノロジーをリードする学生をも対象として幅広く、最新テクノロジーの獲得とレベル向上を支援するとともに、少子高齢化の進展により訪れる人材不足社会を見越して、業界の魅力を伝え、デジタル人材を創生していきます。

人材育成・採用を融合し、新たな学びの場を創出

当社では未来の社会環境で活躍できる人材の育成と採用を同時に実現する「Skill Boot Camp」という人材育成・採用手法を取り入れております。2022年3月期は、当社にとって重要な技術領域である「セキュリティ」「サービスデザイナー」「フロントエンジニア」で実施いたしました結果、社内外からの累計応募者数は671名となり、22名を採用しております。



※サービスデザイン：
お客様の本質的なニーズを見つけ、ユーザー視点、技術的視点、社会的な視点から提案ができるサービスデザイナー
フロントエンド：
お客様業界を理解した上で、ワークフレームを活用し、UI/UXデザインを実現できるフロントエンドエンジニア

Business Development(BD)/Project Management(PM)人材育成強化

当社でサービスや製品を生み出すビジネスモデルに切り替えるため、社員のスキルセット、マインドセットを更に高める必要があります。そのため当社では、社員向けにビジネス開発、プレゼンテーション・交渉、ファシリテーション等のスキル向上カリキュラムを組み、2022年3月期は90名、2020年3月期から延べ149名が参加し、ビジネス拡大に努めております。



Business Development / Project Managementの人材育成強化について

育成内容		2022/3 実績	2020/3~2022/3 累計
Business Development	BD道場	12名	27名
	プレゼンテーション道場	14名	14名
	ハーバード交渉プロジェクト	21名	39名
	重点スキル向上研修	36名	48名
	BD計	83名	128名
Project Management	PM教育	7名	21名
	PM計	7名	21名
	合計	90名	149名

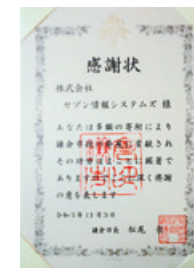
教育データ利活用に関する鎌倉市教育委員会との協業

当社は社会貢献活動の一環として、鎌倉市立の小・中学校が大学や企業などと連携し、魅力的な教育を実現するための「スクールコラボファンド」の方針に賛同し、寄付を行いました。教育分野は社会的貢献の意義が高く、SDGsにおいても最重要のゴールとなっております。鎌倉市教育委員会とはこれまで、安全で効果的な教育データの利活用に関する協業を進めてまいりましたが、その中で様々なステークホルダーと意見交換しながら、児童・生徒の生活状況に係るダッシュボードを作成いたしました。このような活動に対して、鎌倉市より「2021年度市政功労者表彰(感謝状)」を受領しております。

学校教育においては、子供達が大人になる20年後の社会を踏まえた取り組みが必要です。社会の主役である子供達の力を最大限に引き出し、誰一人取り残さない社会環境を構築するため、当社は引き続き鎌倉市教育委員会と協力しながら、子供達一人一人に個別最適化された教育環境の実現に貢献してまいります。



生徒の生活状況に係る
ダッシュボード



市政功労者表彰
(感謝状)

技術研修

■技術力強化とオープンイノベーションの推進

当社は、長年にわたり培ってきたノウハウだけではなく、テクノロジーの強化を図るため、技術教育にも積極的に取り組んでおります。テクノベーションセンターを中心に各事業部門への勉強会を実施して技術習得の機会を設けております。これまでの継続的な全社研修により一定の成果が出たこと踏まえ、昨年から実案件の高度なユースケースに対応できるように、プロジェクトメンバー向けのプライベート勉強会を中心に開催しております。こうした取り組みの結果、社員一人一人の専門性が向上し、お客様に新しい価値を提供することに繋がっております。

■技術教育の実績(2022年3月期)

開催 72回	延べ 630名 参加
-----------	------------------

社内技術者数(一定レベル以上)

AWS	649名	RPA	42名
BlockChain	18名	UI/UX教育	29名
AI	102名	Microsoft Azure	140名

※UI/UX研修は、昨年多くの社員に実施した効果が出始めてきており、今年は実プロジェクトに参画し、浸透を深める取り組みをしています。

世界にチャレンジするスポーツ・文化活動支援

私たちが目指す未来は、まさにグローバルのデジタル巨人たちが大きな壁となり立ちはだかる領域です。私たちは、彼らと時には競争し、時には協業・連携しながら、日本の情報産業の在り方を模索しております。世界に挑み続ける日本のアスリートに応援し、ともにチャレンジを続けていきたいと考えております。

支援方針

世界に挑み続けるアスリートが、「競技生活」と「社会人」それぞれの自立を両立し、大学などと連携を図りながらチャレンジできるように支援を続けてまいります。

現在、HULFT陸上部は400m競走で世界の舞台を経験している選手が3名所属しています。

「陸上競技で最もきつい種目」、「日本人がまだまだ不得意としている分野」において世界に挑み続けるアスリートの取り組みを支援するとともに、一緒にチャレンジを続けていきます。

<目指す大会(400m走個人、リレー種目)>

2022年シーズン

6月 日本選手権

8月 オレゴン2022世界陸上競技選手権大会(アメリカ・オレゴン州)

9月 アジア競技大会(中国・杭州)

<2021年シーズン主な大会結果>

■シレジア2021世界リレー選手権日本代表選考トライアル

400m 小林直己選手 47"40 4位

(世界リレー代表候補者 確定)

加藤修也選手 47"59 10位

■吉岡隆徳記念 第75回出雲陸上競技大会

YOSHIOKA スプリント

300m 加藤修也選手 33"04(自己新記録) 3位

■第63回東日本実業団陸上競技選手権大会

400m 加藤修也選手 47"87 5位

小林直己選手 48"07 6位

■第36回静岡国際陸上競技協会

400m 加藤修也選手 46"95 8位

■第105回日本陸上競技選手権大会兼 東京2020オリンピック競技大会

日本代表選手選考競技会

400m 加藤修也選手 47"41 予選敗退

<社内へ日々の活動や情報を定期的に発信>

大会の結果報告はもちろん、世界の舞台に挑戦するための取り組みやプロセスを自ら発信しています。

400m競走という競技、アスリートの取り組みを知っていただき、たくさんの人に夢や感動を与えていきたいと考えております。

若林康太選手が2022年度の
オリンピック
強化指定選手
として認定を
受けました。



<選手コメント>

2021年は東京五輪開催という大きな目標に向け取り組んでまいりました。

目標へのステップとなる世界リレー競技会への日本代表選出やオリンピック強化指定選出など、得られたものもありましたが、最大の目標であるオリンピックで戦うまでには届かず悔しい思いをした年でもありました。

チームの活動は、強化合宿を8月、1月、2月に計画。社外の選手を交え、選手それぞれの課題に対してトレーニングメニューを出し合い実施しました。互いに意識し張り合いながらトレーニングできたことや400mの戦術、理想の走りなど個人目標や課題を共有し今後に活かせる気づきを得ることができました。

2022年は、世界陸上競技大会、アジア大会が開催されます。世界で活躍するHULFTと同じように世界のトップを目指すアスリートとして邁進してまいります。

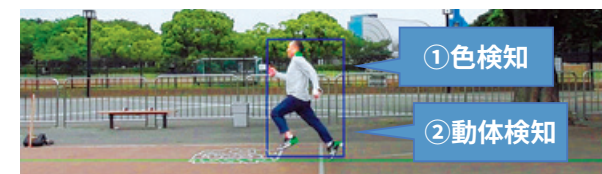


アスリートダッシュボード開発・運営

体組成計、GPSウォッチなどから収集した選手の生体活動データを、当社の強みである「Data Spider」などでつなぐ技術を使い、自動で可視化できるようにしております。動画解析の技術も活用を開始し、周囲の色やランナーの動きを検知することにより、一層精度の高い情報が得られるようになりました。

【収集している主なデータ】

- ・体組成 ・身体バランス
- ・食事やサプリメント
- ・ピッチやストライド
- ・練習メニュー ・速度や心拍数

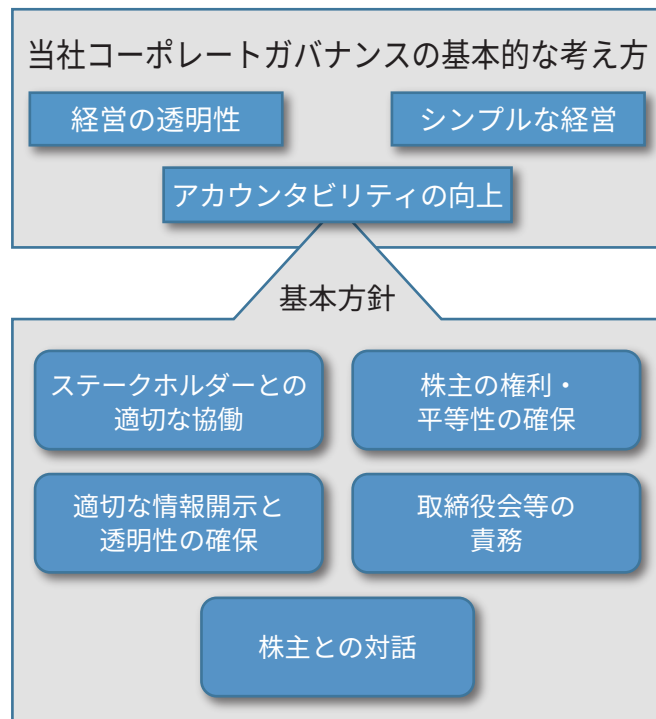


▲動画解析のイメージ

コーポレートガバナンス

「経営の透明性」、「アカウンタビリティの向上」及び「シンプルな経営」を基本として、社外取締役・社外監査役を積極的に選任し、透明性の高いガバナンス体制の確立と適時適切な情報開示に取り組んでおります。

基本的な考え方



■ステークホルダーとの適切な協働

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、株主をはじめとした全てのステークホルダーとの協働が必要であることを認識し、役員及び社員が当社の行動規範（SISCO WAY）に則り行動するとともに、各種の社会的課題の解決に、お客様と“伴”に積極的に取り組むことで、ステークホルダーから信頼される会社となることを目指します。

■株主の権利・平等性の確保

全ての株主の実質的平等性の確保に配慮するとともに、株主の適切な権利行使に資するべく、ポジティブであるかネガティブであるかを問わず、適時適切に情報を開示し、提供しております。

■適切な情報開示と透明性の確保

法令に基づき、四半期ごとに会社の財政状態、経営成績等の財務情報を開示するとともに、株主をはじめとする全てのステークホルダーにとって重要と判断される非財務情報についても、決算説明会、本CSV Report、ウェブサイト、ニュースリリース等、適時適切な方法で積極的に発信します。

■取締役会等の責務

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、企業戦略としての事業計画を策定しております。社外取締役、社外監査役による客観的かつ中立的で、実効性の高い監督体制を構築するなど、職務執行に対する評価・監督を行っております。

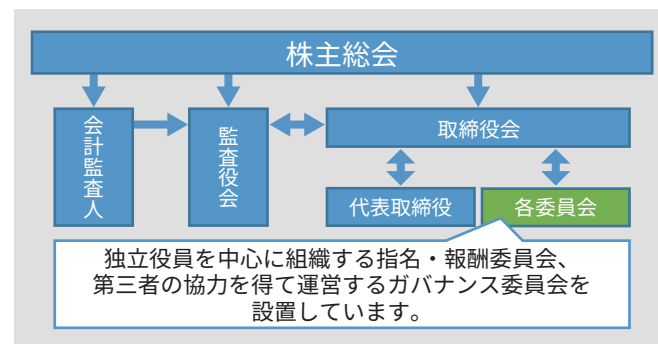
■株主との対話

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、当社側からの情報提供のみならず、株主・投資家との意見交換をより一層図るべく、IR体制を強化し、株主や投資家からの取材、会話の申し込みに対し、積極的に応じていきます。

トピックス

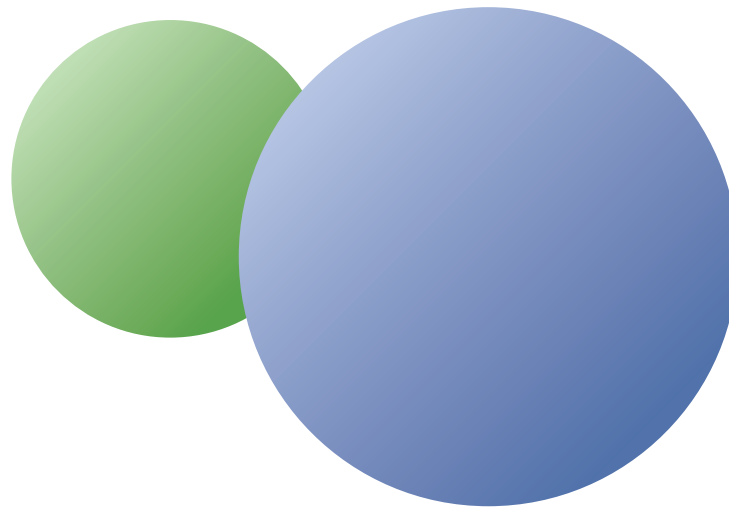
当社の取締役会は、取締役会全体としての実効性に関する分析・評価のため、2021年12月～2022年1月にかけて、取締役・監査役を対象に取締役会の責務や課題についてアンケートを実施し、その結果を踏まえて課題と改善策についてディスカッションを行いました。

アンケートの結果は肯定的な意見が多く、概ね実効性は確保されていると評価しております。今後の課題として、取締役会での議題の拡大（ESG等）や中長期の方針、戦略的な議論の実施に向けた運営方法の改善を図り、さらなる実効性の向上に努めてまいります。



■コンプライアンス・ハンドブックの活用

当社は、グローバル法令及びルールを遵守し、ステークホルダーの信頼に応えるため、安心・安全に事業活動を行うために特に重要なルールを「コンプライアンス・ハンドブック」として社内向けに発行し、日々の業務におけるコンプライアンス実践のために活用しております。



株式会社セゾン情報システムズ

<https://home.saison.co.jp/>

- ・「HULFT」、「DataSpider Servista」及び「HULFT DataCatalog」は株式会社セゾン情報システムズの登録商標です。
- ・その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標です。

